

平成22年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	10.社会教育施設整備事業				
項	5.社会教育費	細事業名	1.学校開放型社会教育施設整備事業				
目	1.社会教育総務費	担当課・係	社会教育課	(執行課: 社会教育課)			

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	300	要求									300
決定額			決定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/だれでも楽しく学習できるまちづくり/学校の余裕教室を活用し、地域住民に生涯学習環境を提供します。						
	【学校開放施設の管理に関する業務】	施策体系コード	03-04-05-10-35			事業番号	25-1		
	学校の余裕教室等を利用した学校開放施設を、地域の生涯学習活動等の拠点として市民等に提供し、その管理を行います。	総事業費	1,200千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
			0	300	300	300	300		
		(事業実施に関する根拠法令) 佐倉市学校開放に関する規則							

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 学校開放を実施する予算 ・小中学校の教室、ミーティングルーム等の学校施設の貸出 ・地域学習室の清掃及び空調機点検	(事業の目的) 教育委員会の所管する学校の施設を市民のスポーツ及びレクリエーション、学習その他公共活動の場として開放することにより、市民の健康増進、情操の涵養及び教養の向上を図る。公民館の狭隘化の解消(定期利用団体)	(事業の効果) 【学校施設開放の利用団体数(平成20年度実績)】 開放実績校 13校 団体数 74団体 延べ利用者数 18,964人
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)